

エコプロ2018に出展しました

平成30年(2018年)12月6日(木)～8日(土)の3日間、東京ビッグサイトでエコプロ2018が開催されました。エコプロは(一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社が主催する環境問題を中心としたイベントで、今年は「SDGs時代の環境と社会、そして未来へ」をテーマに開催され、今年で20回目になります。

12月6日には独立行政法人環境再生保全機構のブースで当研究所環境リスク研究科の西野主任研究員が発表を行ったほか、12月6日～8日はエコチル環境広場 in 東京/子ども学習コーナーの東京都環境公社ブースに、当研究所も公社の事業所の一つとして参加しました。

西野主任研究員が発表した「東京都内を流れる河川中における生活由来物質の生態リスク評価」は、環境再生保全機構の携わる環境研究総合推進費*に採択された「多種・新規化学物質の網羅的モニタリングと地域ネットワークを活用した統合的評価・管理手法の開発(平成28～平成30年度)」に基づいたものです。発表内容は東京都内を流れる河川で、生活由来の化学物質による水生生物へのリスクを評価した結果、一部の抗生物質等について、直ちに影響があるとは限らないが、水生生物への予測無影響濃度を超えていた地点があったというものです。発表後の質疑応答の時間には来場者から質問を受けるなど、活発な議論が交わされました。

東京都環境公社は、子ども環境イベントの開催を行っている「エコチル」の子どもを対象とした学習コーナーにブースを出展しました。当研究所含めた東京都環境公社の5つの事業所のクイズラリーを行い、東京都環境公社の事業を紹介しました。また、エアロバイクを漕いで水素を作り、その水素を使ってミニカーを動かす体験を行いました。多くの小学生が来場し、楽しそうにクイズや体験に取り組んでいました。

*環境研究総合推進費……環境省が広く産学民官の研究機関の研究者から提案を募り、採択された課題を実施するための、環境政策貢献型の競争的研究資金です。



西野主任研究員の研究紹介の様子



東京都環境公社のブースの様子

CONTENTS

エコプロ2018に出展しました

1

参加報告
第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

2

参加報告
IWA World Water Congress & Exhibition 2018 in Tokyo

2

活動報告
施設見学受け入れ

3

お知らせ
平成30年度東京都環境科学研究所「公開研究発表会」を開催します

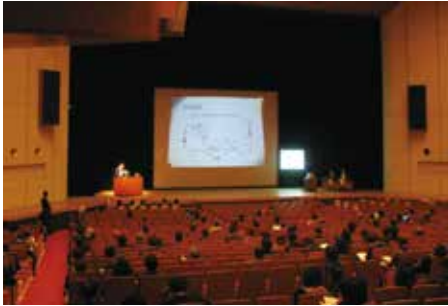
4

研究員が表彰されました！
平成30年度全国環境研協議会
関東甲信静支部長表彰 受賞

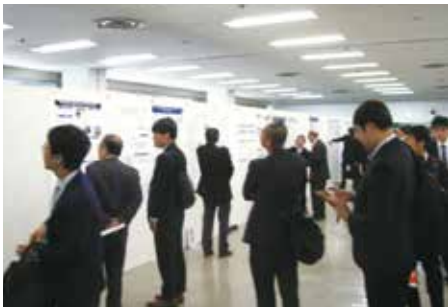
4

参加報告 第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

環境リスク研究科 染矢 雅之



口頭発表会場



ポスター発表会場

平成30年(2018年)10月30日と31日に福島市で開催された「第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会」に参加しました。本研究集会は、汚染物質の環境動態の解明、汚染のリスク評価、汚染の防止対策とその修復技術、地質等に起因する自然由来の汚染問題など、地下水・土壌汚染に関する様々な課題について議論する国内最大規模の研究集会であり、今年度も162件の研究発表や特別講演、企業展示などが行われました。当研究所からは「バッチ式溶出試験および上向流カラム通水試験を用いた土壌含有元素と濁度の溶出挙動に係る検討」との演題で口頭・ポスター発表し、研究成果を発信すると共に、来場した多くの研究関係者と情報交換し、今後の研究を展開する上で貴重なご意見を頂きました。

参加報告 IWA World Water Congress & Exhibition 2018 in Tokyo

環境資源研究科 主任 石井 裕一

平成30年(2018年)9月16日～21日に東京ビッグサイトを会場に開催されたInternational Water Association (IWA) World Water Congress & Exhibition 2018に、(公社)日本水環境学会からの参加費助成を得て参加しました。本国際会議は上下水道、水環境等に関する研究者・事業者・企業等、「水」の専門家が一堂に会する世界最大級の水関連イベントで、2000年のパリでの開催を皮切りに隔年で開催され、今回初めて日本で開催されました。会議では、「Estimation of Oxygen Consumption in Seawater at Inner Bay of Tokyo, Japan」と題したポスター発表を行い、来場者と有益な情報交換を行いました。聴講したテクニカルセッションでは、多岐に亘る水関連の研究の中で、国際的にも注目を集めているマイクロプラスチックに関する研究報告が数多くなされていたことが印象的でした。マイクロプラスチックに関するフィールド調査や分析等の基礎的な研究、大規模下水処理場での効率的な除去対策等について各国の最先端の取組を知ることができた非常に有意義な会議でした。



会場に掲示した発表用ポスター



テクニカルセッション会場

活動報告 施設見学受け入れ

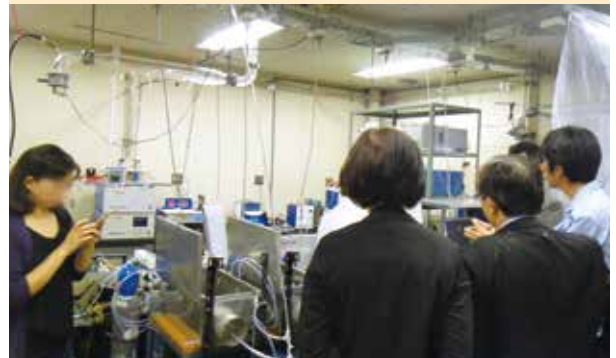
研究所では、日頃の研究成果や研究施設について知っていただくため、施設見学を受け入れています。自動車環境対策、大気汚染、有害化学物質、水環境などに関する研究について幅広く紹介・情報交換を行っています。近年は日本だけでなく、海外からも多くの見学者にお越しいただいております。今回は海外からの見学受け入れの一部を紹介します。

平成30年(2018年)5月23日
きれいな空と都市 東京フォーラム参加者 現地視察



光化学オキシダントについての説明

平成30年(2018年)8月8日
台湾行政院環境保護署の施設見学



PM_{2.5}を分析する装置についての説明

平成30年(2018年)8月28日
JICA研修生(タイ)の施設見学



小型車の排出ガスを測定する装置の説明

平成30年(2018年)8月30日
JICA研修生(テヘラン)の施設見学



研究所の自動車排出ガス調査の説明

平成30年(2018年)9月5日
北京市環境情報センターの施設見学



ダイオキシン類についての説明

平成30年(2018年)10月24日
山西省環境保護庁の施設見学



大型車の排出ガスを測定する装置の説明

お知らせ

平成
30
年度

東京都環境科学研究所 「公開研究発表会」を開催します

東京都環境科学研究所は東京都の環境対策に必要な調査・研究等を行い、東京都及び都民等に科学的知見の提供を行っています。毎年1回、研究成果等を広くお知らせするため、公開研究発表会を実施しています。ご興味のある方はぜひお越し下さい。

日時 平成 1月10日(木) 13時00分～
31年 17時10分

場所 都民ホール (都庁 都議会議事堂1階)

定員 先着250名 (予約不要・入場無料)

内容 静岡県公立大学法人 静岡県立大学教授 谷晃氏による特別講演「植物の香り成分が大気汚染を招く可能性—テルペン類と大気環境の相互作用—」及び当研究所から4件の研究発表を行います。13時00分～13時30分、16時40分～17時10分はロビーにて別途、ポスター発表を行います。

●詳細はHPをご確認下さい。

<https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken>



平成29年度の公開研究発表会の様子

研究員が表彰されました!

平成30年度 全国環境研協議会 関東甲信静支部長表彰 受賞

平成30年(2018年)10月22日、次世代エネルギー研究科 小谷野眞司主任研究員が全国環境研関東甲信静支部総会において、試験研究機関の業務に顕著な業績を挙げ、支部表彰を行うにふさわしいと認められ、表彰されました。

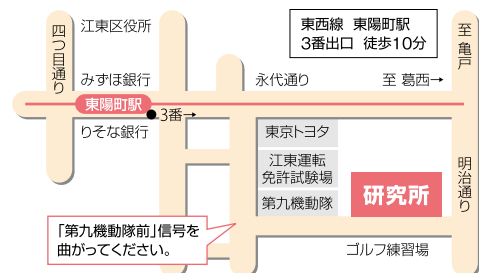
●記事へのご意見がございましたら下記へお寄せください。

【発行】東京都環境局総務部環境政策課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL 03 (5388) 3426(ダイヤルイン)

【編集】公益財団法人 東京都環境科学研究所
東京都環境公社
〒136-0075 東京都江東区新砂一丁目7番5号
TEL 03 (3699) 1333 FAX 03 (3699) 1345
2018年12月発行
メールアドレス / kanken@tokyokankyo.jp

ホームページ <https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>

平成30年度
登録第122号
環境資料第30092号



古紙配合率70%

270

リサイクル適性(A)

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。白色度85%再生紙を使用しています。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。